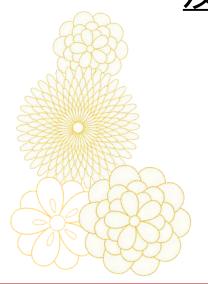
<u>長期ビジョン(仮称)策定の進捗状況</u> 及び今後のスケジュール(案)について





次期総合計画の構成

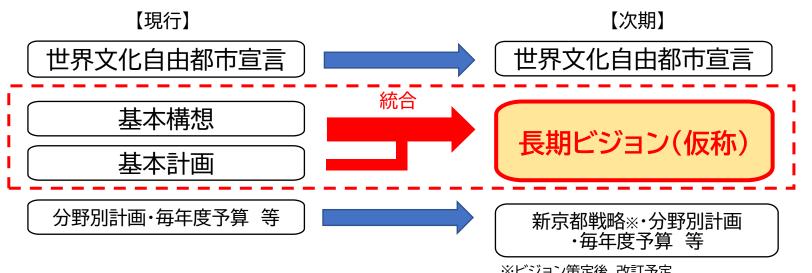
- ○現行基本構想と基本計画を統合し、基本構想をベースとした「長期ビジョン(仮称)」として策定する。
- ○計画期間は、現行基本構想と同様、25年間(2026~2050年)とする。

<現状>

- ・総合計画(京都市基本構想及び京都市基本計画並びに各区基本計画)が2025年12月に終期を迎える
- ・地方自治法改正(2011年)により、「基本構想」の策定義務規定が廃止

<本市の考え方>

- ・不確実性・複雑性が高く、先行きが不透明で、変化が激しい現代社会において、未来を予測することは ますます困難になっている
 - ⇒ 時代に左右されない京都のまちの基軸、羅針盤として長期ビジョン(仮称)を描く
- ・複数の政策領域を跨ぐ課題に対応する分野横断的な計画を策定しており、基本計画の役割と重複
 - ⇒ 効率的な行政運営を行うことが必要



意見·提案 市民(全世代) 京都市総合計画審議会 関係人口(市外居住者) 役割:長期ビジョン(仮称)の体系及び草案の審議・答申 ①特設サイト「みんなの理想京 ideal Kyoto」での 委員数:20名、特別委員(起草者)1名 意見募集、情報発信 ②公民連携イベントにおけるアンケート調査等による 意見収集 諮問 ③アンケート調査、パブリックコメントの実施 など 草案を議論し 意見·提案 審議会に提示 審議結果を 答申 交流·連携 フィードバック 京都市 議決 役割:長期ビジョン(仮称)草案の 起草(起草者+事務局) 草案の提示 京都市未来共創チーム会議 京都 策定推進本部 役割:①長期ビジョン(仮称)草案の内容の検討・議論 市会 役割:①庁内での情報共有・議論 ②長期ビジョン(仮称)策定後のまちづくりの実践 ②市民等への幅広い周知 につなげていくための方策の検討 若手職員の参画 ③次期総合計画案の決定 ③長期ビジョン(仮称)普及・定着に係る広報戦略 構成:本部会議 幹事会 の提案及び実施 人 数:10名(うち2名は市若手職員)、特別委員1名 提案 「京都市の未来を紡ぐチーム」(若手職員11名)(R7.3末時点) 役割:①市民等の多様な主体との対話による意見収集 ②庁内議論の活性化

これまでの審議状況

京都市総合計画審議会				
第1回	令和6年10月9日(水) (18:00~20:20)	京都市役所「正庁の間」	・会長の選出等・次期総合計画策定の進め方	
第2回	令和6年11月11日(月) (10:00~12:10)	京都芸術センター 「講堂」	・策定方針の確認 ・京都のめざすまちの姿等に関する議論(グループ 討議) ※未来共創チーム会議を招集し、合同で審議	
第3回	令和6年12月10日(火) (10:00-12:00)	QUESTION	・骨子(案)の審議	
第4回	令和7年2月3日(月) (10:00-12:10)	「京・和新庵 ~文化と 産業の交流拠点~」	・骨子(案)の審議 ・未来共創チーム会議から「これからの25年、京都 のまちづくりにあたって大切にしたい思想・価値 観」の提示【資料2】	
第5回	令和7年3月19日(水) (10:00-12:30)	京都市国際交流会館「特別会議室」	・序文(案)の提示【資料3】 ・めざすまちの姿に係る論点【資料4】	

※この他にも、野村特別委員(起草者)と各委員との個別意見交換を実施

これまでの審議状況

京都市未来共創チーム会議				
第1回	令和6年10月31日(木) (13:00~15:10)	QUESTION	・第1回京都市総合計画審議会の結果報告 ・京都のめざすまちの姿等に関する議論	
第2回	令和6年11月11日(月) (12:20~13:10)	京都芸術センター 「講堂」	・第2回京都市総合計画審議会での審議を踏まえた 京都のめざすまちの姿等に関する議論	
第3回	令和6年11月21日(木) (10:30~12:10)	梨木神社 参集殿	・京都のめざすまちの姿等に関する議論	
第4回	令和6年12月23日(月) (13:00~17:10)	学び場とびら	・第3回京都市総合計画審議会の結果報告 ・京都のめざすまちの姿等に関する議論 (審議会への伝え方の検討) →「これからの25年、京都のまちづくりにあたって大切にしたい思想・価値観」を取りまとめ【資料2】	
第5回	令和7年2月17日(月) (13:30~14:30)	河岸ホテル	・京都のめざすまちの姿等に関する議論	
第6回	令和7年4月8日(火) (15:00~17:20)	梅小路公園 「緑の館」	・京都のめざすまちの姿等に関する議論	

[※]この他にも、自主的に参集し議論を重ねるとともに、オンライン上でも日常的に意見交換 また、第5回未来共創チーム会議終了後には、審議会委員との対話を実施

市民参加の取組状況

- ① みんなの理想京 ideal Kyoto (特設サイト)
 - 1 開設の目的
 - ➤ 長期ビジョン(仮称)の策定に当たり、京都の未来像を、時間や場所の制約なく、市民をはじめとする多くの方々と一緒に考えていくため、意見や思いを募集
 - ➤ 策定過程を見える化するため、審議会や未来共創チーム会議における議論の結果を掲載
 - **2 開設日** 令和6年9月20日(金)
- ② 子どもたちに向けた取組

特設サイトにおいて子ども用のページを作成し、教育委員会と連携のうえ、

GIGA端末にて市内公立の小学校、中学校、高等学校全240校に配信

- ※ 小:150校、中:64校、小中一貫:8校、高:10校、支援学校:8校
- ※ 高校には一般用の特設サイトを配信
- ③ 市民参加型のイベント等における意見収集

各局区等が実施している市内の公民連携イベントや交流会に市職員が直接出向き、 アンケート等による意見収集や対話を実施(参加イベント等:28)

- ④ 市民アンケートの実施
- ⑤ 市外在住者アンケートの実施

【意見収集状況(R7.2.28時点)】 **合計 21,907件**

(内訳)

①②みんなの理想京 ideal Kyoto(特設サイト) : 12,376件

③市民参加型のイベント等における意見収集 : 1,366件

④市民アンケート : 970件

⑤市外在住者アンケート : 7.195件





今後のスケジュール(案)

